



協生 AI x Design リサーチコアセミナー

生命感のあるキネティックアート表現への試み ーメディアアート、ロボティクス、ときどきリサーチ



講演者：神戸芸術工科大学大学院芸術工学研究科

教授 中安 翌氏

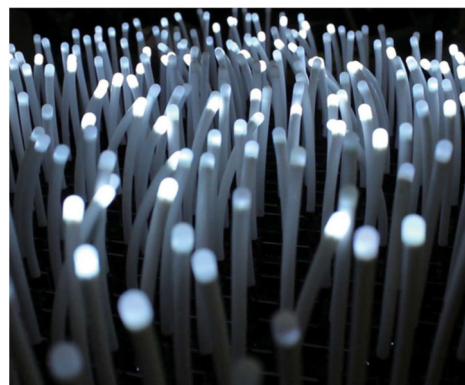
日 時：令和3年7月16日（金）13:30-15:00

実施方法：ネット配信方式（Webex）

申込方法：下記のお問い合わせ担当へ前日までにご連絡ください。
（参加費無料）

講演要旨

テクノロジーとアートの境界はなくなっており、アートやデザイン、エンターテインメントの差もツール上ではデジタル技術によって統合されつつある。技術者、研究者がアート作品を制作することもある。デザイナーやアーティストがプログラミングやデバイス開発まで担当することもある。本講演では SIGGRAPH や Laval Virtual の Art Gallery 展示作品をレビューしながらテクノロジーとアート表現の融合について俯瞰し、自身の活動として 10 年以上にわたって制作し続けているロボット技術を応用した生命感のあるキネティックアート表現への試みについて紹介する。



講演者略歴

映像制作、印刷システム開発、ウェブ制作を経験後、フリーとして活動。劇団に在籍していた縁から劇空間における映像演出を手がけるようになる。関わった主な作品に、中島みゆき『夜会工場 vol.1』、三谷幸喜演出『おのれナポレオン』、宝塚歌劇団星組『メイちゃんの執事』。2008 年より独自開発の形状記憶合金アクチュエータを利用したアート作品を発表している。Aesthetica Art Prize Longlist 2020、ALife Art Award 2018 Special Jury Prize、UIST 2016 Best Demo、経済産業省 Innovative Technologies 2016 等を受賞。

1996 年	九州工業大学工学部設計生産工学科機械コース卒業
2011 年～2018 年	金沢美術工芸大学一般教育等メディアアート担当 講師～准教授
2013 年	博士（芸術工学/九州大学）取得
2019 年～現在	神戸芸術工科大学大学院芸術工学研究科/映像表現学科 准教授～教授

問い合わせ先：協生 AI x Design 拠点長 宮田一乗
（担当：研究施設支援係 sien@ml.jaist.ac.jp）